



半島振興法は、昭和五十七年十二月に和歌山県議会からの提唱を受け、仮谷知事が全国二十四道府県知事で構成する半島地域振興対策協議会の会長となり、全国の半島地域の先頭に立って制定を要望した、言わば「和歌山県から生まれた」法律です。今回も、本県をはじめとする半島地域の道府県、同議会、市町村が協

力して要望し、期限延長と内容の充実が実現しました。



半島振興法制定促進全国大会(昭和59年8月)

**六月十四日は「半島の日」**

半島振興法が制定された六月十四日を「半島の日」とし、全国の半島振興関係者が集う記念イベントを和歌山県で行うことになりました。

日時 六月十四日 午後一時

場所 那智勝浦町 グリーンピア南

内容 鈴木健一氏による記念講演やパネルディスカッション、半島地域の民俗芸能の披露など。

くわしくは県庁地域振興課へ



今回の延長では、法が一部改正され、「情報通信基盤の整備」「高齢者福祉の増進」「伝統文化の保存、活用」の条項が新たに追加され、幅広く適用されることとなっています。

今後も、新しい半島振興法を最大限に活用し、一層住みやすい紀伊半島を創造します。

「半島振興法」をご存じですか。  
三方を海で囲まれ、国土軸から離れているなど、地理的に不利な半島地域を発展させようと昭和60年に制定された法律です。  
この法律の法期限は、平成7年3月となっていましたが、このたび、10年間延長されるとともに内容も充実されました。

福祉、通信、文化などにも  
幅広く活用

### 世界リゾート博1周年記念イベント

「リゾート・ファンタジー イン 白浜」  
幻想的な霧に映像を映すウォータースクリーンとコンサート  
7月15、16日／白浜町 白良浜

コンサート  
入場整理券



▲"シーラ・E&ザ・E・トレイン" 7月15日  
◆"バブルガム・ブラザーズ" 7月16日

入場は無料ですが入場整理券があれば優先席でご覧になれます。  
申込 入場整理券をご希望の方はハガキに参加希望日、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、6月25日までに〒640 和歌山市小松原通1-1 県庁博覧会記念事業

推進室内 1周年記念イベント係 ☎(0734)41-2071へ  
定員 両日ともペア500組(応募者多数の場合抽選、当選は発送をもってかえさせていただきます。)

「光の回廊 "ルミナリエ"」  
南イタリアの伝統的な光の芸術を日本で初めて公開  
8月12~20日／和歌山マリーナシティ

### 和歌山県中学生海外研修事業

県内の中学生400人によるフランス、イギリスを中心とした海外研修を行います。友好提携を結んでいるフランスのピレネーオリアンタル県などを訪問。

### 平成7年度世界リゾート博記念地域活性化補助事業

市町村等が行う地域の活性化や文化的振興のための事業に対して補助を行います。

### 鉄道整備推進事業

地域の活性化や観光リゾートの振興を図るため紀勢本線の高速化事業に補助を行います。



# おしらせ

**催し**

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

英國ロイヤルバレエ団 6月14日午後6時30分～  
大ホール S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席6,000円 D席4,000円

県立近代美術館 ☎(0734)36-8690

村井正誠展 7月1～30日 一般800円 高校生・大学生500円 小・中学生300円  
休館日 月曜日

**お気軽にどうぞ**

交通事故相談

[常設相談] 月～金曜日(東牟婁県事務所は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3金曜日 受付 午後1時～3時

[巡回相談] ●伊都郡事務所 6月28日 ●西牟婁県事務所 6月14日 受付 午後3時まで

県民相談

[常設相談] 月～金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による法律相談] 每月第2、4金曜日 受付 午前9時～11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●粉河町役場 6月15日 ●本宮町山村開発センター 6月29日 ●橋本市岸上総合会館 7月6日 受付 午後1時～3時

\*くわしくは県庁県民相談室 ☎(0734)41-2356(県民相談)、41-2359(交通事故相談)へ

**おしらせ**

保母試験

期日 筆記＝8月2・3日  
実技＝(紀北) 8月24・25日  
(紀南) 8月22日

場所 紀北＝開智高校(和歌山市)

紀南＝御坊商工高校(御坊市)

願書配布 各県事務所、各市町

村役場

受付 郵送＝6月13日～23日ま

でに県庁児童家庭課へ持参＝

6月22日・23日に県民文化会館

(和歌山市)へ

くわしくは県庁児童家庭課又

は各県事務所民生課へ

調理師試験

日時 8月2日 午前10時～

場所 星林高校(和歌山市)、笠

田高校(かつらぎ町)、日高高校

(御坊市)、田辺商業高校(田辺

市)、県立新宮高校(新宮市)

願書配布 県庁健康対策課、各

保健所

火薬類取扱保安責任者試験  
日時 8月27日午後1時～  
場所 紀の国会館(和歌山市)  
受付 6月27日～7月6日まで  
サンケイビル2階 全国火薬類  
保安協会和歌山県試験事務所 ☎  
(0734)32-1896  
願書配布 県庁消防防災課、各

県事務所総務課  
くわしくは県庁消防防災課へ  
保母試験  
くわしくは県庁消防防災課へ

**地域福祉推進補助金**

対象 介護技術の講習会や健康講座の開催、ボランティア研修など高齢者等の保健福祉の増進を目的に各種民間団体が県内で広域的に行う事業  
補助額 対象経費の2分の1以内(補助限度額250万円)

申込 6月30日までに協議書を県庁高齢社会政策課へ  
くわしくは申込先、各県事務所民生課へ

**夏休み特集**

ファミリー・キャンプ

抽選 参加方法 往復ハガキに住所、参加者氏名、学校名、学年、電話番号を記入し、6月12～20日までに各市町村役場の青少年担当課へ

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、保護者氏名欄に電話番号を記入し6月22日までに当該地方教育事務所(和歌山市の方は県庁社会教育課)へ

対象 3年生 参加方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、電話番号を記入し3年生参加選)

申込方法 往復ハガキに住所、定員 約60人(多数の場合抽選)

対象 3年生 参加方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、電話番号を記入し3年生参加選)

対象 3年生 参加方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、電話番号を記入し3年生参加選)

受付 6月19～23日までに住所地又は勤務地を管轄する保健所(県外在住の方は、県庁健康対策課へ)

くわしくは県庁健康対策課又は受付先へ

## がんばります。 紀州路観光PR



新しいふれ愛紀州路キャンペーンガールが決まりました。応募総数68人の中から選ばれたのは、写真右から

坂口貴美さん（奈良市）  
堀内千鶴さん（和歌山市）  
志磨あゆみさん（和歌山市）  
宮本吏庸子さん（和歌山市）  
竹内とよみさん（田辺市）  
吉田保代さん（海南市）

平成8年3月まで、観光PR活動や吉宗イベントなどのお手伝いをしていただきます。

紀州で、吉宗になる。  
シリーズ

## 吉宗探訪

紀州徳川家の城として長い歴史をもつ和歌山城。そのすぐ南に開館してそろそろ1年の県立博物館では、特別展「八代将軍吉宗と紀州徳川家」を7月2日まで開催中です。

今月号では展示の中から、吉宗ゆかりの文化財などを一部紹介します。

### どうせいこうろうならびにしゅううるしひりこうだい 銅製香炉並朱漆塗香台



享保10年（1725）に將軍吉宗が長保寺内の頼宣靈前に寄進した葵紋入りの香炉とその香台。



### 徳川吉宗書状

年始の献上品に対する返礼の品に、吉宗が添えた書状。



### 木造徳川吉宗坐像

かずらの  
福井県の葛野神社に伝わる吉宗の木像。当初は頼宣像といわれていた。



### 重要文化財／太刀 銘光忠 附 糸巻太刀拵



紀州東照宮の創建にあたり、頼宣が奉納した徳川家康所用の太刀と拵。

### 県立博物館特別展「八代将軍吉宗と紀州徳川家」

2期 6月11日まで 3期 6月13日～7月2日

（2期と3期では展示品が一部異なります。）

開館時間 午前9時30分～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日



（南部川村）

南部川村の国道四二四号を走っていると、ひときわ目立つ黄色の橋が現れてきます。橋の名は「学校橋」。二十メートルほど下流にも橋がありますが、大型車両の通行が増加したため、歩行者の安全を考えて、歩道橋として新設したものです。

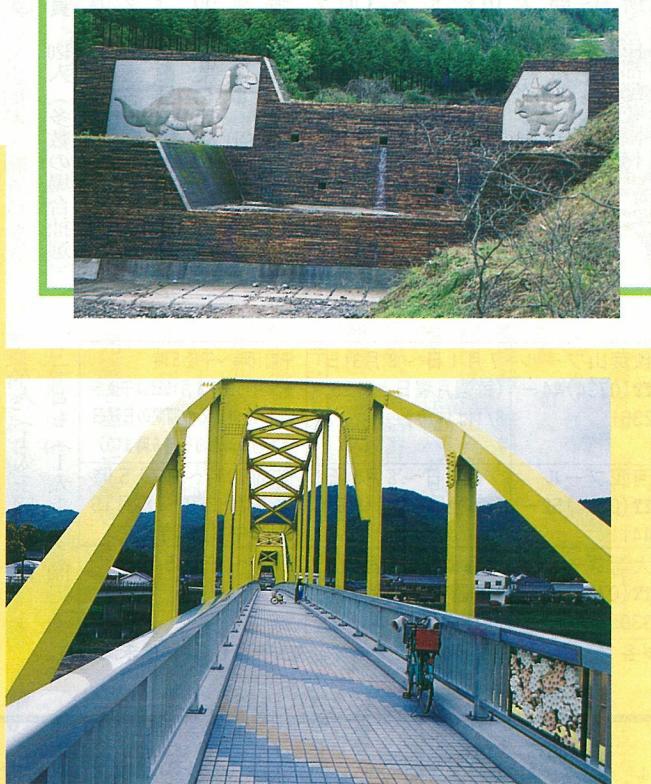
南部川下流にかかるこの橋は、「梅の里」の景観の、「大きなアクセサリー」となっています。

## 黄色が目立っています

南部川村の国道四二四号を走っていると、ひときわ目立つ黄色の橋が現れてきます。

橋の名は「学校橋」。二十メートルほど下流にも橋がありますが、大型車両の通行が増加したため、歩行者の安全を考えて、歩道橋として新設したものです。

南部川下流にかかるこの橋は、「梅の里」の景観の、「大きなアクセサリー」となっています。



天下無双の力士  
鏡山 沖之右衛門

かがみやま おきえもん

元禄時代、紀州藩には当代稀に見る名力士がいた。彼の名は鏡山沖之右衛門。父は紀州の人だが鏡山自身は奥州の生まれといわれている。若くして江戸におもむき、相撲取りとなつた。元禄十三年（一七〇〇）、江戸で光貞に見いだされ、五十石で紀州藩に召し抱えられた。以後十七年間、紀州藩の力士として活躍し、指南役を務めた。當時の大名は競つて強い力士を召し抱えたが、指南役まで務めることは珍しかつた。小柄で力も強くはなかつたが、非常に優れた技を持ち「天下無双の相撲の名人、日本相撲中興の祖」と称えられた。享保三年（一七一八）に力士を退き、藩主のお供役となつて熊野詣などに従つた。元文四年（一七三九）に死去。

写真は、元禄六年（一六九三）宮城県中田町にある桜場八幡神社に、諸願成就のため彼が奉納した絵馬。（わかやま館で開催中の「紀州に人あり展」でも、パネル展示等で紹介しています。）

「わかやま」の知識  
シリーズ⑨